

カトリック 三田小教区報

2025年 1月号(No. 267)
三田市屋敷町8-15 TEL 079-562-4404 FAX 079-562-9404
発行責任 神田 裕神父 編集: 宣教委員会広報部

“たかとり”震災語り ⑤

追悼と新生のはざま

神学生時代を東京で6年過ごし司祭になって大阪に戻るとき、世話になった教会の人たちが送別会を開いてくださった。あるお母さんに「かんちゃん、これから結婚もしないで寂しくないの？大丈夫？」って言われた。続けて、「でもね、二人でいるのに寂しいよりずっといいからね」ってボソッとつぶやかれた。え、どういうことって思った。

1995年1月17日。被災地は孤立し孤独が襲ってきた。たかとり教会は瓦礫となり、そして救援基地となった。毎日たくさんの人々が入れ代わり立ち代わり来てくださり、仮設建物も皆で即席に作り寝泊まりして活躍くださった。寂しくなんかなかった。ただ同じ場所にずっといると心身ともに麻痺してくる。教会を離れるわけにもいかない。時々2、3日部屋に籠って出ない日があった。出たくなかったのだ。しかも月に一度のペースでそんな時がやってくることもあった。食事も殆んど取らずまるで修行僧だ。みんな心配してくれたけど、ほっといてくれたらそれでよかった。

独りになっている時はロクなことを考えない。仲間たちと一緒にいる時の方が寂しくもないし元気だ。でも自分の殻に閉じこもる時間も大切だと思った。心と体が要求したからだ。

“1.17 追悼と新生の祈り in たかとり” 毎年1.17にはたかとり教会で追悼の祈りをする。30年目だ。追悼は寂しさや悲しさを皆で共有するとき。そして新生は共に生きる力をつけるとき。そのはざまには、自分の孤独に引き籠り、自分に向き合う時間が必要だったかと思う。私には月に2、3日の引き籠りが必要だった。自分だけでなく人は皆、家族の中であったとしても所詮孤独で、孤独同士が互いに手をつないで生きているのだと思えば、決して寂しくなんかないのだと思えたからだ。それが新生の祈りだ。

災害後の歩みは人生の歩みそのものと言ってもいいかもしれない。短距離走ではなくてマラソンだ。他の人のペースに翻弄されないように、自分のペースを見つけて只管コツコツと、“出たところ勝負”に挑むのだ。

三田教会 神田裕

1 月 教 会 行 事			※ミサ前、各自で静かに祈って下さい。 ※週日(水・金)のミサ:9時30分(司祭不在時はありません)
1	水	神の母聖マリアの祭日 世界平和の日 [元日]	新年ミサ:午前11時
2	木		
3	金		
4	土		祭壇花当番:中地区
5	日	主の公現の祭日	二十歳のお祝いミサ:午前9時30分 記念写真撮影 清掃当番:東・北(集会室・前庭)／西(敷地外周)／中(聖堂)／南(トイレ) クリスマス片付け
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		祭壇花当番:西地区
12	日	主の洗礼の祝日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(敷地外周)／西(聖堂)／中(トイレ)／南(集会室・前庭) ポルトガル語ミサ:午後3時
13	月	[成人の日]	
14	火		
15	水		
16	木		
17	金	大阪教区新生の日(1. 17)	神戸地区 阪神淡路大震災30年追悼ミサ:午前10時 司式:前田万葉大司教 於:カトリック神戸中央教会
18	土	キリスト教一致祈祷週間(~25日)	祭壇花当番:東・北地区
19	日	年間第2主日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(聖堂)／西(トイレ)／中(集会室・前庭)／南(敷地外周) 定例評議会
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		祭壇花当番:南地区
26	日	年間第3主日(神のことばの主日) 世界こども助け合いの日(献金)	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(トイレ)／西(集会室・前庭)／中(敷地外周)／南(聖堂)
27	月		
28	火	聖トマス・アキナス司祭教会博士	
29	水		
30	木		
31	金		

※ 2月のミサの朗読・共同祈願担当地区は → 中地区です。

※新型コロナウイルス感染症対策などで、行事等が中止になる場合があります。